



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月30日

上場会社名 日本和装ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2499 URL <http://www.wasou.com/profile/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田重久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 菅野泰弘 TEL 03-3216-0070
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	3,607	△20.2	93	—	31	—	10	—
26年12月期第3四半期	4,519	4.9	△221	—	△301	—	△240	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 10百万円 (—%) 26年12月期第3四半期 △273百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	1.19	—
26年12月期第3四半期	△26.77	—

(注) 平成27年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、平成26年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	6,294	2,182	34.5
26年12月期	7,735	2,212	28.5

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 2,172百万円 26年12月期 2,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	2.00	—	3.00	5.00
27年12月期	—	2.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予定額は未定であります。

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,030	△12.9	100	—	50	—	32	—	3.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	9,002,000株	26年12月期	9,002,000株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	0株	26年12月期	0株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	9,002,000株	26年12月期3Q	9,002,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループは、前事業年度末に営業拠点を29拠点から15拠点へと統廃合したことにより、経営資源を大都市圏に集中して運営しております。

毎年、春と秋に開講している「無料きもの着付教室」の新規受講生については、有名タレントを起用した広告を展開することで受講生数の増加を図るとともに、1クラスあたりの定員を少人数にした個別指導の体制をとることで、よりきめ細かな教室運営に注力しております。この結果、春の開講では計画の受講生数を達成し、カリキュラムに組み込んだ販売機会による取扱高も、ほぼ計画通りに推移しました。9月から募集した秋の開講についても、計画の受講生数に達しております。

「無料きもの着付教室」の卒業生（会員様）を対象としたイベントでは、前事業年度までの実績で人気の高かったイベントに絞り込んで開催し、効率的な運営に注力しながら、目標を上回る取扱高を達成しました。また、統廃合により拠点を閉鎖した地域では、会員様へのアフターフォローを兼ねたイベントを実施し、小規模ながらも取扱高の増加に寄与しております。

連結子会社については、株式会社はかた匠工芸（博多織の製造販売業）にて、前事業年度に出店した「男きもの専門店SAMURAI」を中心に、男きもの市場の拡大に努めております。現時点では連結業績を押下げる要因になっておりますが、市場開拓のための先行投資の段階と捉えております。日本和装クレジット株式会社（当社グループのお客向けショッピングローン事業）では、業容の拡大よりも、安定した代金回収に注力しており、堅調に推移しております。海外子会社においては、ベトナムでの縫製事業が軌道に乗り、連結業績の向上に寄与しております。

以上の営業活動により、売上高については、統廃合による営業拠点数の減少が主な理由で3,607百万円（前年同四半期比20.2%減）となりました。

利益面では、株式会社はかた匠工芸の損失（営業損失33百万円）が影響したものの、営業拠点数の減少に伴う固定費の減少や、会員様向けのイベントで効率的な運営に注力したこと等が奏功し、販売費及び一般管理費が減少したことから、営業利益は93百万円（前年同四半期は営業損失221百万円）となりました。

営業外損益では、日本和装クレジット株式会社の運転資金の借入金利息を32百万円計上、資金調達手数料として支払手数料を28百万円計上した一方で、海外子会社に対する貸付金の回収に伴う為替差益12百万円を計上したこと等から、経常利益は31百万円（前年同四半期は経常損失301百万円）となりました。

特別利益では、当第3四半期において固定資産売却益42百万円を計上しました。これは、当社顧客向けゲストハウスの建築予定地として、平成22年12月に取得した神奈川県鎌倉市の土地を売却したことによります。

法人税等は、法人税、住民税及び事業税を9百万円、法人税等調整額23百万円を計上するとともに、過年度法人税等30百万円を計上したことにより、63百万円（前年同四半期は5百万円）を計上しました。

これらの結果、四半期純利益は10百万円（前年同四半期は四半期純損失240百万円）となりました。

なお、当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心とした、きもの関連事業の単一セグメントのため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,441百万円減少し、6,294百万円となりました。流動資産において、日本和装クレジット株式会社が保有する割賦売掛金が929百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して1,410百万円減少し、4,112百万円となりました。これは主に固定負債において、社債が償還により100百万円減少したことや、日本和装クレジット株式会社の長期借入金等が、返済により1,381百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、四半期純利益10百万円を計上する一方で、配当金45百万円を支払ったこと等から、前連結会計年度末と比較して30百万円減少し、2,182百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月31日に公表いたしました連結業績予想からの修正は行っておりません。

現在の取り組みについて

経済産業省の和装振興研究会が平成27年6月16日に発表した報告書では、「きもの日」を制定すること等、和装振興に関する提言がありました。当社グループは、これを和装業界に著しい経済効果をもたらす、またとないチャンスと捉えております。

既に当社グループでは、前事業年度に設立した特定非営利活動法人「和服を世界遺産にするための全国会議」と連動し、和服をユネスコ無形文化遺産へ登録することを目指した活動を展開しております。9月には「世界遺産号」と名づけた車両にて、日本全国の和服の産地を巡り、産地それぞれの魅力を国内外にアピールする活動を始めました。

また、前事業年度に出店した「男きもの専門店SAMURAI」を中心に、当社グループをあげて、男きものPRを充実させております。10月には、男性だけの着付教室を始めました。男性向けきもの市場の開拓は、当社がこれまで開拓してきた女性きもの市場との相乗効果により、和装業界を活性化するものと期待しております。

当社グループは、これら一連の活動を「2020プロジェクト」と名づけ、5年後の東京五輪開催に向け、日本中をきもの姿でいっぱいにすることを目標に取り組んでおります。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,141,944	1,215,245
営業未収入金	367,107	335,333
割賦売掛金	4,035,034	3,105,762
たな卸資産	103,270	132,306
その他	864,964	506,732
貸倒引当金	△42,428	△47,562
流動資産合計	6,469,893	5,247,818
固定資産		
有形固定資産	675,987	451,439
無形固定資産	36,828	126,621
投資その他の資産	552,993	468,745
固定資産合計	1,265,810	1,046,806
資産合計	7,735,703	6,294,625
負債の部		
流動負債		
営業未払金	46,269	36,638
短期借入金	1,912,856	2,134,997
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	24,579	10,526
前受金	334,082	233,494
営業預り金	15,786	16,563
その他	582,367	477,859
流動負債合計	3,015,941	3,010,079
固定負債		
社債	150,000	50,000
長期借入金	2,347,860	966,719
その他	9,000	85,613
固定負債合計	2,506,860	1,102,332
負債合計	5,522,801	4,112,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	459,634	459,634
資本剰余金	336,487	336,487
利益剰余金	1,426,892	1,392,332
株主資本合計	2,223,014	2,188,454
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△15,862	△16,036
その他の包括利益累計額合計	△15,862	△16,036
新株予約権	5,749	9,795
純資産合計	2,212,901	2,182,213
負債純資産合計	7,735,703	6,294,625

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,519,750	3,607,650
売上原価	624,677	383,268
売上総利益	3,895,073	3,224,381
販売費及び一般管理費	4,117,043	3,130,619
営業利益又は営業損失(△)	△221,969	93,762
営業外収益		
受取利息	363	316
為替差益	-	12,301
その他	5,316	5,552
営業外収益合計	5,680	18,170
営業外費用		
支払利息	40,257	36,345
支払手数料	40,429	29,174
その他	4,119	14,470
営業外費用合計	84,807	79,991
経常利益又は経常損失(△)	△301,096	31,941
特別利益		
固定資産売却益	-	42,247
新株予約権戻入益	3,171	-
受取補償金	42,388	-
特別利益合計	45,560	42,247
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△255,536	74,189
法人税、住民税及び事業税	26,479	9,158
過年度法人税等	-	30,293
法人税等調整額	△21,423	23,999
法人税等合計	5,055	63,450
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△260,591	10,738
少数株主損失(△)	△19,646	-
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△240,945	10,738

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△260,591	10,738
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△12,579	△174
その他の包括利益合計	△12,579	△174
四半期包括利益	△273,171	10,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△253,524	10,564
少数株主に係る四半期包括利益	△19,646	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

3. 補足情報

季節的変動について

当社グループの主な収益源は、「無料きもの着付教室」の受講生及び卒業生を対象とした販売機会において、各契約企業が商品を販売することに対する仲介手数料です。

「無料きもの着付教室」は年2回(春期・秋期)開講しており、春期は第1四半期中に受講生を募集して開講し、受講中となる第2四半期を中心に販売機会を開催して終結します。同じく秋期では、第3四半期中に受講生を募集・開講し、第4四半期を中心に販売機会を開催して終結します。そのため、販売機会による仲介手数料の計上が第2四半期と第4四半期に集中します。

その他、教室の卒業生である会員様を対象とした販売機会を不定期に開催しておりますが、「無料きもの着付教室」に係る売上高の計上時期の偏重が大きいことから、各四半期業績に季節的変動があります。